

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	奏	入居者に対する共感的理解、全人的理解というプロセスを軽視して目先の対応に終始する習慣がスタッフ間に自然に根付いてしまっていた。認知症ケアの基本に立ち返り「自宅にいたらどうか」「自分が入居者の立場ならどう思うか」という視点を重視する必要がある。	入居者がその人らしく主体的に生きることができるようになるための適切な支援をできるようにする。	認知症の人の声にならない思いをくみ取り、入居者がその人らしく生きるためにどのような支援が必要か？複数のスタッフによる多角的、多面的アセスメントを実施しながら必要な対応を全スタッフで話し合うとともに入居者がどういう人でどうしたいのかを第一に考えケアに生かす。まずは「健康王国」運用スケジュールを決め日々利用しながら効果、内容についてのノウハウ蓄積していく。委員会活動を通して効果の測定とよりよい活用方法を検討していく。	4月開始 12ヶ月
2	健	入居者の対応をしながらアクティブの時間を充実させるのが難しい。アクティブが苦手なスタッフもいる。「健康王国」の導入が決まり有効利用出来れば入居者のADL低下を緩やかにすることにつながる。	「健康王国」を活用してアクティブの充実を図ろう。		12月開始 4ヶ月
3	調	「にやりほっと」やGA活動で見つけた入居者の「できること」を継続して取り組めていない。	ICFの視点に立ち、入居者の「できる」可能性の発見と、継続して支援できるようにすること。	入居者毎に「できる」ことの支援を続けるために、モニタリング項目を作成。毎月のミーティングで振り返りを実施する。	4月開始 11ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。